

---

学校名 岐阜県立中濃特別支援学校

校長 青山 孝

学校住所 関市桐ヶ丘2丁目3番地

電話 0575-24-1773

---

- 1 会議の名称 岐阜県立中濃特別支援学校を支える会
- 2 会議の構成
- |       |          |                |     |
|-------|----------|----------------|-----|
| 評議員   | 安井 喜代子   | (有) セキカガク      | 取締役 |
|       | 鈴木 恵介(代) | (社) 関青年会議所     | 理事長 |
|       | 植野 明     | 向山長寿会          | 会長  |
|       | 菊池 啓子(欠) | 中部学院大学短期大学部    | 教授  |
|       | 須甲 しのぶ   | 岐阜県立ひまわりの丘第一学園 | 次長  |
| 学校職員等 | 青山 孝     | 校長             |     |
|       | 本田 利恵    | PTA会長          |     |
|       | 山田 真治    | 事務部長           |     |
|       | 山下 雅樹    | 教頭             |     |
|       | 大前 裕子    | 小学部主事          |     |
|       | 高木 茂和    | 中学部主事          |     |
|       | 小林 雅彦(欠) | 高等部本校主事        |     |
|       | 今井 滋行(欠) | 高等部分教室主事       |     |
|       | 山内 幸恵    | 教務主任           |     |
|       | 橋田 直也    | 生活支援部長         |     |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を求め、教育活動の活性化につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。
- 4 会議の開催 日 時：平成29年2月10日(水) 9:30~11:30  
会 場：中濃特別支援学校校長室  
出席者：評議員4人、学校職員等8人
- 5 会議の概要
- (1) 校長挨拶
  - (2) 学校授業参観
  - (3) 学校評価アンケート結果について
  - (4) 授業見学
  - (5) 平成28年度の教育について(各部報告)
  - (6) 生活支援について
  - (7) 意見及び提言

意見1・働く力を学習し始めた中学部1年の取組を参観できたよい機会であった。施設の職員にも伝えたい。

・学校と密に連携を取り、社会に送り出していきたい。

意見2・地域の交流相手として来校している。その中で、児童から元気ももらっている。

- ・現物を使ってあれだけできることは素晴らしいと、本日の授業を見て思った。
- ・生徒の登下校中の課題については、保護者に協力を依頼してはどうか。
- ・交通事故が多いとのことだが、ヘルメットの着用を促すことはよいことと思う。他の方法も考えていくとよい。

意見3・捜索に関しては、広報を活用する等、大勢の目、広い目で行うことが大切である。

- 意見4・小学部、中学部、高等部がある学校なので、段階を踏んで教育できることがあるとよい。
- ・生活単元学習での生きていく力を付けるということはとてもよい。もっといろいろな所に行く
  - とよい。
  - ・将来は自立する力が必要になってくる。一人では成功体験が難しいが、仲間とであれば成功体験ができる。それが学校で学ぶ意味だと思う。
  - ・社会に出ると、必ず役がある。自分の役割が把握できる力をつけておくとよい。
  - ・SNSの課題はなくなる。LINE等は、生活の中に組み込まれつつある。学校としてのルールを作り、保護者に確実に伝えるとよい。

- 意見5・スクールバスに朝、安心して送り出せる。ありがたい。
- ・授業参観では、個に合った役割が設定してあり、参観できてよかった。
  - ・生徒が迷ったとき、すぐ支援しないで少し待つということは、立ち止まり考えさせるよい機会だ
  - と思う。
  - ・作業学習に服装をそろえることから始めることは、効果的である。
  - ・美濃和紙あかりアート展は、地域とのつながり、見てもらうことに意味がある。ぜひ、続けてほしい。
  - ・今年の校内掲示は、季節によって変わり、よいと思う。
  - ・学年通信等で分教室の活動を伝えてもらえると、様子が分かる。
  - ・スクールカウンセラーについては、保護者は知らない人がほとんどと思われる。紙面での知らせだけではなく、直接顔を見られる機会を考えていることはよいことである。ぜひ、行ってほしい。

## 6 会議のまとめ

学校評価アンケートの結果説明や、中学部の授業参観、各部、生活支援部からの現状説明等により、平成28年度の当校の取組と現状、課題について理解していただけたと考える。

中学部1年の職業教育のスタートを参観していただいたことで、社会自立につながる教育活動の第一歩を知っていただけたと考える。

課題として挙げた交通事故やLINEの問題、捜索などの対策について、貴重なご意見をいただき、今後は、この提案を次年度の教育活動の中で具体化できるように進めていきたい。